

世界の国々には、国境があっても他国と隣接してゐる。そのために相互の交渉が深く、メリットも多い。日本も国際化が叫ばれてゐる。日本が、島国根性から脱却する必要がある。そのための第一として、「日韓トンネル建設構想」がある。そこで、第一人者である佐々保雄氏について語つてみた。

佐々保雄氏にインタビュー

発案は戦前の国鉄マン

——今、日韓トンネルを通る仕事をされてゐるようですが、そんな人は九州から朝鮮まで通つて、韓国に渡るハイウェイですが、その大部分は海底トンネルになります。ハイウェイといっても、海の底を走るトンネルになり、車は海中で通はれることになるでしょう。全長が総計百五十キロメートルになり、走りながら、それを高速列車で走れば三十分ぐらいで済みます。

——それは大きな計画ですね。どうしてそんな構想を持たれたのですか。

昭和十年代ですが、国鉄に愛原保雄という技師がいて、ね、今私が毎月行つてゐる青函トンネルもその人の発案です。いろいろ利便の利便を言ひ出す人として、彼は朝鮮に渡り、中国を横断して、中近東に入り、ヨーロッパに至るアジア横断鉄道つまり東京・ロンドン間の

高速鉄道を考へてゐました。朝鮮との間はすでに調査も行われていたんです。しかし、米韓戦争が勃発し、それが出来なくなりました。やがて敗戦でしよう。朝鮮は独立して、以後この話口にする人もいなくなりました。しかし、先年、ドネコンの大株組のプロジェクトチームが、ユラシア・ハイウェイの構想を公にしてゐます。そのPR紙に、ですが、建設費は極めて、対馬にはトンネルで、韓国へは海の中トンネルとして、車通りのチェーンで通る案です。建設費は三兆円と算出されてゐます。ところが昨年、これは韓国側からですが、ソウルで開かれた「科学の統一に関する国際会議」で主催者の文相が、世界の平和を築く具体的な方法として、「インスターナショナル・ハイウェイ」を提議してゐる。みんなに感銘を与えています。その時配られたリーフレットを、前の日韓トンネルの西端を配ると

が持つてゐられて、「日韓間にも初めから関係したんだから、一つこれをもやってみないか」といふわけです。それで、文相の企画を主として、日本の技術力と経済力をもちて、それが、日韓トンネルに



佐々 保雄

交通の整備で人の往来が盛んになり、貿易が盛んになる。日韓トンネルは、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

日韓トンネルで相互理解を

日本が世界に貢献する時

じゃないかと考へて、乗り出してゐる。人々は飛行機で、大甲船で、船で、今、日韓トンネルも通る。今、日韓トンネルも通る。今、日韓トンネルも通る。

——それは、人々は飛行機で、大甲船で、船で、今、日韓トンネルも通る。今、日韓トンネルも通る。今、日韓トンネルも通る。

——それは、人々は飛行機で、大甲船で、船で、今、日韓トンネルも通る。今、日韓トンネルも通る。今、日韓トンネルも通る。

交通の整備で人の往来が盛んになり、貿易が盛んになる。日韓トンネルは、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

——日韓トンネルの建設は、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

——日韓トンネルの建設は、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

——日韓トンネルの建設は、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

——日韓トンネルの建設は、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

——日韓トンネルの建設は、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。

——日韓トンネルの建設は、日韓間の経済的、文化的、政治的、社会的な交流を促進する。それが、日韓トンネルの目的である。